

## インフルエンザ定点(小児科定点を含む)

インフルエンザ: 報告数67件、前月比では1.1です。67件中60件が宇城・天草からの報告です。年齢は大きな偏りはありません。昨年は10月14件、11月64件と報告があり、今年は9月が63件と一ヶ月早まっています、これからの発生動向に注意が必要です。

## 小児科定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が48医療機関から50医療機関に増えました。

(全体傾向) 報告総数3,355件(前月比1.2、前年比1.0)でした。前月比で大きく増減した疾患は、RSウイルス感染症423件から785件(前月比1.9)、水痘157件から261件へ(同1.7)、A群溶連菌咽頭炎181件から278件(同1.5)が増加し、ヘルパンギーナが175件から92件(同0.5)と減少しています。RSウイルス感染症は流行期にあたりますので注意が必要です。報告数の多い疾患での推移は例年と同様です。

## (疾患別傾向)

1. RSウイルス感染症: 報告数785件(前月比1.9、前年比1.5)と9月から急増し、10月にはさらに増加しています。地域別にみれば、水俣が69件(34.5)、宇城127件(31.8)、菊池156件(31.2)、熊本329件(20.6)と多いようです。一方で、阿蘇からの報告はなく、御船(5件)、有明(8件)、天草(14件)からも少ないようです。

※( )書きは1ヶ月の報告数を定点数で割った値。以下同じ。

2. 咽頭結膜熱: 報告数58件(前月比1.3、前年比0.3)です。今年は1月の204件をピークとして漸減し、6月に一旦増加していますが、その後は減少しています。菊池23件(4.6)が多いようです。

3. A群溶連菌咽頭炎: 報告数278件(前月比1.5、前年比1.0)です。例年同様の推移です。ことしも9月が最少で10月に増加に転じています。人吉61件(20.3)が特に多いようです。山鹿以外の各地から報告があります。例年この後増加してくるので注意が必要です。3歳から7歳を中心とした各年齢から報告があります。

4. 感染性胃腸炎: 報告数1,112件(前月比1.1、前年比0.7)と例年並みの推移です。菊池249件(49.8)、有明199件(39.8)が多く、山鹿69件(34.5)と続いています。全県下からの報告があり熊本、阿蘇、水俣を除けば、定点当たり二桁の報告です。ほぼ全年齢から報告があります。

5. 水痘: 報告数261件(前月比1.7、前年比1.9)と、例年より立ち上がり早いようです。八代45件(11.3)、人吉29件(9.7)、菊池41件(8.2)が多いようですが、ほとんどの地区から報告があります。定期接種が10月から始まりましたので推移に注目です。未罹患の方の早期の接種を勧奨します。

6. 手足口病: 報告数240件(前月比0.8、前年比1.2)と、今年はピークこそ例年より低水準でしたがその後は例年並の推移をしており、今後減少するものと思われます。人吉56件(18.7)、菊池82件(16.4)が多いようです。他地区からの報告も多く、推移に注意が必要です。

7. 伝染性紅斑: 報告数9件(前月比9.0、前年比なし)です。ここ数年の低水準が維持出来ています。熊本(7件)、菊池(1件)、宇城(1件)から報告されています。

8. 突発性発疹 : 報告数222件(前月比1. 2、前年比1. 0)と、ほぼ例年同様の推移です。阿蘇・御船を除き県下から定点あたり3～5件の報告があります。
9. 百日咳: 報告は、菊池からの成人1件のみでした。8月の8件をピークとして漸減しています。今後も成人の発症を注意する必要があります。
10. ヘルパンギーナ: 報告数92件(前月比0. 5、前年比2. 6)で、例年同様の推移で減少しています。天草38件(9. 5)が目立つ他は、定点あたり1～2件の報告です。年齢は1歳前後からの報告です。
11. 流行性耳下腺炎: 報告数37件(前月比1. 3、前年比1. 6)と、今年始めからの漸減傾向が続いています。人吉18件(6. 0)が目立ちますが多くの地区から一桁の報告があります。

## 眼科定点

1. 急性出血性結膜炎: 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎 : 報告数35件(前月比 0. 9、前年同月比 0. 4) と5月からの減少が続いています。地区別では熊本34件、有明1件の報告です。年齢別では相変わらず20～39歳代にピークがありますが、乳幼児層に流行のきざしはありません。

## STD定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が13医療機関から16医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症: 報告数 58件(前月比 1. 2、前年比 0. 9)で、前月比は増加し、前年比は減少しています。男女別は、男性20件、女性38件で、女性に多く見られます。年齢別は、男性は15～44歳に見られ、女性は15～49歳に見られます。地域別は、熊本が26件、次いで八代12件、有明8件、御船6件、菊池、宇城各3件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症:  
報告数 18件(前月比 1.0、前年比 1. 2)で、前月比は同数で、前年比は増加しています。男女別は、男性8件、女性10件でした。年齢別は、男性は20～64歳に見られ、女性は15～70歳以上と幅広い年齢に見られます。地域別は、熊本が8件、次いで菊池5件、八代、宇城各2件、御船1件でした。
3. 尖圭コンジローマ: 報告数 9件(前月比3. 0、前年比1. 1)で、前月比、前年比共に増加しています。男女別は、男性4件、女性5件でした。年齢別は、男性は20～49歳に見られ、女性は15～59歳に見られます。地域別は、熊本が4件、次いで八代、有明各2件、御船1件でした。
4. 淋菌感染症: 報告数22件(前月比1. 0、前年比 1. 0)で、前月比、前年比共にほぼ同数でした。男女別は、男性20件、女性2件で、男性に多く見られます。年齢別は、男性は15～54歳に見られ、女性は20～49歳に見られます。地域別は、熊本が15件、次いで八代、有明、宇城各2件、天草1件でした。

## 基幹定点

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎: 報告はありませんでした。(前月比 -, 前年同月比 -)
2. 無菌性髄膜炎: 6件(前月比 3. 0、前年同月比 0. 8)の報告がありました。熊本5件、有明1件でした。年齢は0歳:2件、25~29歳:2件、35~39歳:1件、55~59歳:1件でした。
3. マイコプラズマ肺炎:18件(前月比 2. 3、前年比 3. 6)の報告がありました。熊本7件、阿蘇3件、水俣1件、人吉2件、天草5件でした。年齢は1~4歳:3件、5~9歳:3件、10~14歳:3件、20~24歳:1件、30~34歳:3件、35~39歳:1件、40~44歳:1件、65~69歳:1件、70歳以上:2件でした。
4. クラミジア肺炎: 1件(前月比 -, 前年比 -)の報告がありました。熊本1件で、年齢は1~4歳:1件でした。
5. 感染性胃腸炎:  
(ロタウイルス) 1件(前月比1. 0、前年比 -)の報告がありました。熊本1件で、年齢は1~4歳:1件でした。

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症:  
20件(前月比0. 9、前年比1. 0)の報告がありました。熊本8件、八代3件、水俣6件、人吉3件でした。年齢は0歳:2件、1~4歳:1件、10~14歳:1件、30~34歳:1件、40~44歳:1件、50~54歳:1件、55~59歳:2件、65~69歳:1件、70歳以上:10件でした。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症:  
5件(前月比1. 0、前年比 -)の報告がありました。熊本3件、八代1件、有明1件でした。年齢は40~44歳:1件、55~59歳:2件、70歳以上:2件でした。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症:  
報告ありませんでした。(前月比 -, 前年比 -)

## 届け出対象感染症

- 1類感染症: 報告はありませんでした。
- 2類感染症: 結核:43件
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症:1件
- 4類感染症: 日本紅斑熱:4件  
レジオネラ症:1件
- 5類感染症: アメーバ赤痢:2件  
侵襲性肺炎球菌感染症:3件  
破傷風:1件  
バンコマイシン耐性腸球菌感染症:1件